

富山高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	運用概論Ⅱ		
科目基礎情報								
科目番号	0084			科目区分	専門 / 必修			
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 1			
開設学科	商船学科			対象学年	2			
開設期	後期			週時間数	2			
教科書/教材	海技実習ポケットブック							
担当教員	笹谷 敬二							
到達目標								
船舶職員として必要な基礎的な船舶運航能力を本校小舟艇を使用して実体験させるとともに、沿岸航海に必要な基礎的知識と技術を座学及び演習を通じて身につける。								
ルーブリック								
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
学科の到達目標項目との関係								
教育方法等								
概要	小舟艇（機動艇）操縦の体験、基本的な沿岸航海をおこなうに必要な海図などを使用した演習を実施する。 小舟艇操縦については実際に操縦することにより、船体運動を体験する。							
授業の進め方・方法	船舶職員として必要な基礎的な船舶運航能力を本校小舟艇を使用して実体験させるとともに、沿岸航海に必要な基礎的知識と技術を座学及び演習を通じて身につける。							
注意点	養成施設の授業に該当する。 運用の科目のうち、貨物の取り扱い積みつけ、非常措置、乗組員の管理及び訓練に関する科目及び地文航法に該当。 評価が60点に満たない者は、願出により追認試験を受けることができる。追認試験の結果、単位の修得が認められた者にとっては、その評価を60点とする。							
授業計画								
後期	3rdQ	週	授業内容			週ごとの到達目標		
		1週	機動艇操縦			校内機動艇2艇の操縦実習 機動艇を実際に操縦し、操縦性を体感する。		
		2週	同上			同上		
		3週	同上			同上		
		4週	テークルの取り扱い、ボースンチェアーの取り扱い			テークルの機能を理解する。ボースンチェアーの取り扱いを知る。		
		5週	船位の求め方			水路誌説明、海図の見方		
		6週	同上			三角定規、コンパス、ディバイダーの使用法		
		7週	同上			クロスベアリングによる船位の決定（演習）		
	8週	同上			コースラインの記入、位置決定、流潮航法演習			
	4thQ	9週	同上			流潮航法演習		
		10週	同上			同上		
		11週	同上			同上		
		12週	同上			同上		
		13週	保安応急部署			船員法で定められる保安応急		
		14週	国際信号旗取り扱い			国際信号書による国際信号の理解		
		15週	成績評価・確認			講義内容について設問		
16週		答案返却 解説 授業アンケート						
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標								
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週	
評価割合								
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計	
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0	
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0	
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0	
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0	